

Weekly Accounting Review

2010年4月7日 (No.051)

株式会社エスネットワークス

会計・監査・税務に関する最新情報をお送りします。

【今週号のトピック】

- 会計①／「会計基準の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」等の公表に伴う他の会計基準等の改正案の公表について
- 会計②／「一株当たり当期純利益に関する会計基準（案）」、「一株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針（案）」、「一株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い（案）」の公表について

【先週の特別損益等 I R】

- アーバンライフ株式会社：関係会社売却益の計上
- 太平洋セメント株式会社：事業構造改革費用の計上
- 株式会社アミューズ：たな卸資産処分損の計上

【先週の会計監査人交代等 I R】

- テイカ株式会社
- 株式会社サハダイヤモンド

1. 「会計基準の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」等の公表に伴う他の会計基準等の改正案の公表について（4月2日）

企業会計基準委員会は、2009年12月に「会計基準の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」及び「会計基準の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」が公表されたことに伴い、「四半期報告書に関する会計基準」・「四半期報告書に関する会計基準の適用指針」・「セグメント情報に関する会計基準」の改正の公開草案を公表しております。

https://www.asb.or.jp/asb/asb_j/documents/exposure_draft/kaikei/;jsessionid=26DF99BADD442724BEEADEEBFA36AC1

「四半期報告書に関する会計基準」・「四半期報告書に関する会計基準の適用指針」の改正は、「会計基準の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」及び「会計基準の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」に則した変更が加えられております。「セグメント情報に関する会計基準」においては、報告セグメントとして開示する事業セグメントの範囲を変更する場合には、その旨及び前年度のセグメント情報を当年度の報告セグメントの区分により作り直した情報を開示することが求められております。

ショート・コメント

上記公開草案の意見募集は5月31日までとなっております。

2. 「一株当たり当期純利益に関する会計基準（案）」、「一株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針（案）」、「一株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い（案）」の公表について（4月2日）

企業会計基準委員会は、「会計基準の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」及び「会計基準の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」の公表や会計基準のコンバージェンスの観点から、「一株当たり当期純利益に関する会計基準（案）」、「一株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針（案）」、「一株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い（案）」を公表しました。

https://www.asb.or.jp/asb/asb_j/documents/exposure_draft/touki/

主な改正点は以下の通りです。

（1） 当期及び当期の貸借対照表日に株式併合及び株式分割が行われた場合

⇒普通株式の期中平均株式数及び普通株式増加数は、表示する財務諸表のうち、最も古い期間の期首に株式併合又は株式分割が行われたものとして算定する

（2） 会計方針の変更又は過去の誤謬の訂正が行われた場合

⇒1株あたり当期純利益及び1株あたり純資産額を遡及適用後又は修正表示後の金額により算定する

（3） ストックオプションに関する取扱い

⇒潜在株式調整後1株あたり当期純利益の算定上、自己株式方式を用いる際に、ストックオプションの権利の行使により払い込まれると仮定された場合の入金額には、ストックオプションの公正の評価額のうち、将来企業に提供されるサービスに係る分が含まれる

（4） 子会社等が親会社の潜在株式を発行した場合

⇒親会社の潜在株式に含める

（5） 親会社の子会社等の潜在株式を発行した場合

⇒想定される転換の結果、子会社等の普通株式数の増加に起因する親会社の損益の変動についても普通株式に係る当期利益に加減する

（6） ワラントの行使価格又は転換証券の転換価格が期中に修正された場合

⇒当該修正を反映して計算を行う

ショート・コメント

上記公開草案の意見募集は5月31日までとなっております。

3. 先週の特別損益等IR（3月29日～4月2日）

（1）アーバンライフ株式会社（証券コード8851、大証二部）：関係会社売却益の計上【3月29日】

アーバンライフ株式会社は、財務体質の改善を目的として経営合理化策の観点から、自社の分譲マンションの管理委託業務を行っている持分法適用会社であるアーバンサービス株式会社の株式の全てを同社の主要株主である関西電力株式会社及びアーバンライフ株式会社の親会社である森トラスト株式会社に売却することとしました。これにより、関係会社売却益4億42百万円を特別利益に計上するとしております。

なお、株価は発表日終値 81 円から発表日翌日終値 79 円と 2 円下落しております。

(2) 太平洋セメント株式会社（証券コード 5 2 3 3、東証一部・福証）：事業構造改革費用の計上【3 月 30 日】

太平洋セメント株式会社は国内セメント需要が減少したことに伴って、一部の工場のセメント生産を中止し、それに伴い工場セメント設備の減損損失 150 億円・その他の費用 40 億円を見込んでおります。また、セメント需要の減少の規模に適合した人員体制にするため、早期退職者 500 名程度の募集を行うこととしており、退職加算金 60 億、退職給付未積立額の償却等 80 億円を見込んでおります。加えて、セメント需要の減少の規模に適合した物流体制にするため、セメント専用船の減船・サービスステーションの削減により、減損損失 25 億円を見込んでおります。これらを事業構造改革費用として 2010 年 3 月期に 340 億円を特別損失として計上することとしております。

なお、株価は発表日終値 132 円から発表日翌日終値 134 円と 2 円上昇しております。

(3) 株式会社アミューズ（証券コード 4 3 0 1、東証一部）：たな卸資産処分損の計上【3 月 31 日】

株式会社アミューズは連結子会社であるメディアビジュアル事業を営むアミューズソフトエンタテインメントの主力事業である DVD パッケージの市場が急激に縮小し、作品の収益率の低下・DVD の返品が増加したことに伴い、抜本的な事業構造改革が必要になり、たな卸資産処分損 1,511 百万円を特別損失に計上することとしております。2009 年 12 月 31 日におけるたな卸資産は 5,305 百万円であり、その約 3 分の 1 程度が費用化されることとなります。なお、メディアビジュアル事業は 2010 年 3 月期においても、2011 年 3 月期の第 3 四半期においても営業損失となっております。

なお、株価は発表日終値 968 円から発表日翌日終値 951 円と 17 円下落しております。

5. 先週の会計監査人交代等 I R（3 月 29 日～4 月 2 日）

(1) テイカ株式会社（証券コード 4 0 2 7、東証・大証二部）【3 月 31 日】

テイカ株式会社は会計監査人である公認会計士 岩田 渉氏が健康上の理由により辞任することになりました。これにより、テイカ株式会社の会計監査人は恒栄監査法人のみとなります。

(2) 株式会社サハダイヤモンド（証券コード 9 8 9 8、JASDAQ）【4 月 1 日】

株式会社サハダイヤモンドは一時会計監査人である市島公認会計士事務所及び松下公認会計士事務所から辞任する申し出を受けたことに伴い、新たに一時会計監査人をやよい監査法人とすることとしました。なお、やよい監査法人は市島公認会計士事務所の市島幸三氏が中心となって設立された監査法人であり、自社の監査の継続性から選任を行ったものであります。

【本レポートに関するお問い合わせ先】

株式会社エスネットワークス 公認会計士 橋本 卓也

Tel:03-5573-4661 / t-hashimoto@esnet.co.jp